

平成29年度の運営状況報告

平成29年度は、県内外の医療機関への病院訪問や県民向けの公開セミナーを開催するなど、継続して広報活動に取り組みました。また、県内放射線治療施設の技術の均てん化に向けた支援を行い、放射線治療の分野で活躍する医療スタッフのスキルアップを目的とした研修会の開催に注力しました。座学だけではなく実習形式の研修内容をプログラムの中に組み込むことで、現場のニーズに見合った内容となり、参加者から「実際に治療機器を使用して学べる講習会は大変珍しく、日々の診療へすぐに活かせる内容であった」等の高い評価を得ることができました。このようなアンケート結果をもとに、引き続き、新しい内容の研修会を企画・実施していければと考えています。

また、より安心で安全な高精度放射線治療の提供に向けて、「既存の手技を組み合わせ、より均一性を高めた照射法」や「従来よりも心臓への負担を減らす照射法」など、新しい放射線治療計画を開発・実戦しています。また、治療成績などはお示しできませんが、上記のような活動や患者さんの予後調査を通じて、質の高い医療を提供するがん放射線治療施設の拠点となれるように、今後も活動を行ってまいります。

平成29年度の実績について

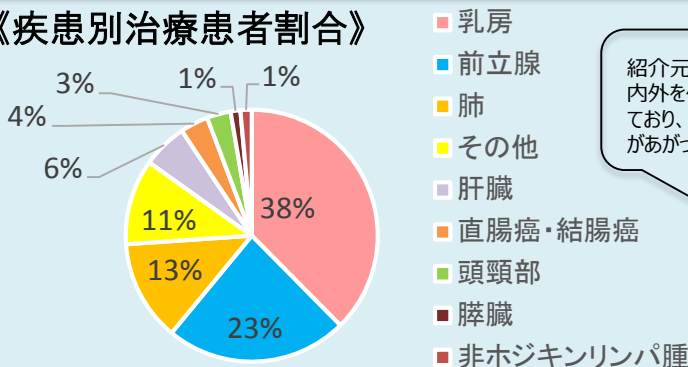
《患者数等》

▶県内で最も多く放射線治療を提供した施設になりました！

診療日数	248日／年
延べ治療患者数	12,134人／年
平均治療患者数	48.9人／日
治療患者数	554人／年

※平成29年4月1日～平成30年3月31日

《疾患別治療患者割合》



紹介元医療機関も県内外を併せて60を超えており、着実に認知度があがっています。



《学会発表等》



職種	件数	学会・研修会名など
医師	2	第128回日本医学放射線学会中国四国地方会など
診療放射線技師	10	CSFRT2017、日本放射線腫瘍学会第30回学術大会など
看護師	1	第73回日本放射線技術学会総会学術大会など
医学物理士	9	8th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physicsなど
合計	22	

センター新入職員からの一言



平成30年4月1日付けでセンターの職員になりました。県内最先端の高精度放射線治療を行う施設のスタッフとして、それぞれが持つ資格を活かしながら、患者さんにとって最適な治療を提供できるよう努めていきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。